

日本の感染第二波

ポイント① 新規感染者数が増大

日本での新型コロナ新規感染者数は、4月7日の7都府県を対象とした緊急事態宣言、4月16日の宣言対象の全国拡大をきっかけに減少に転じました。

しかし、6月下旬から再び増加に転じて7月3日には200人を超え、感染第二波の様相を呈しています。東京都での感染拡大が顕著ですが、周辺の県や他地域でも新たな感染者が確認されています。

ポイント② 大規模な自粛措置は見送りか

専門家や政府関係者などからこうした動きを警戒する発言が出ています。ただ、緊急事態宣言下で行なわれたような外出自粛、休校、休業の要請は全面的には実施されず、地域、時間、施設、業種などを限定した措置に留まるのではないかと考えられます。

その背景として、第一には若い人を中心に感染が拡大していることもあって重症化するケースが少なく、図1が示すように死亡者が増えていないことが挙げられます。第二に、政府や東京都は感染抑制と経済活動の両立を目指しており、経済に大きな支障が生じるような措置は控えたいものと見られます。

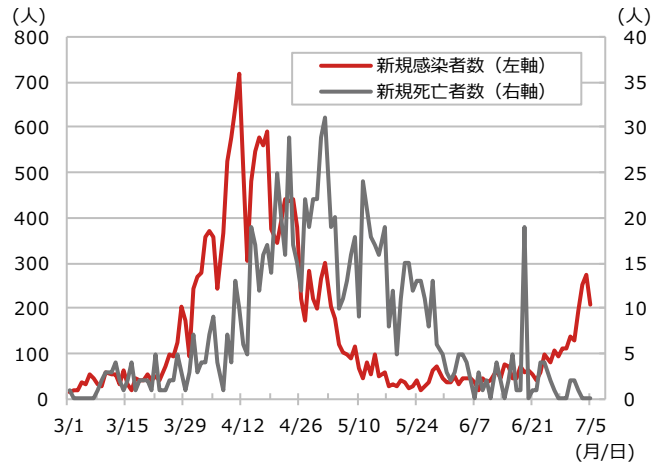
ポイント③ 緩やかな景気回復に留まる見込み

金融・財政政策の下支えもあり、景気は回復に向かうでしょう。ただ、図2が示す東京の交通量は、感染再拡大に対する人々の懸念を反映してか、足元で回復がやや鈍っているように見受けられます。こうしたことなどから見て、景気回復のペースは緩やかなものに留まりそうです。

また、感染拡大の影響を受けにくい業種と受けやすい業種、需要構造の変化に対応できる企業とできない企業などの間で、業績の格差が大きくなりやすいと考えられます。

図1：日本の新型コロナ新規感染者と死亡者

期間：2020年3月1日～2020年7月5日、日次



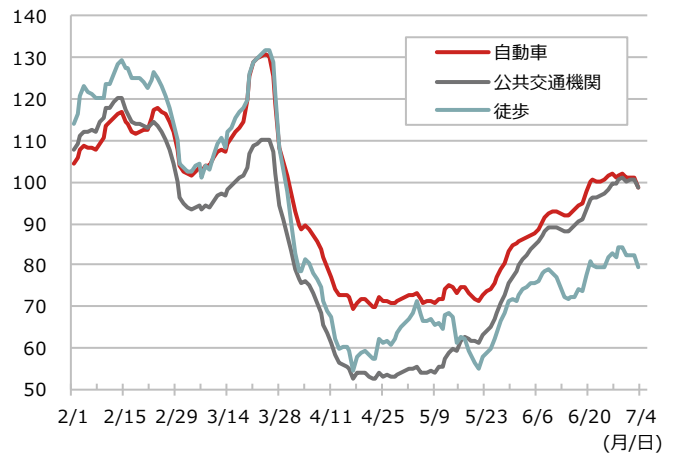
(注) 埼玉県での死亡者計上方法見直しによる13人増分を6月19日に計上。

(出所) NHKサイト

(<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data-all/>)より野村アセットマネジメント作成

図2：東京の交通量

期間：2020年2月1日～2020年7月3日、日次



(注) Appleマップの経路検索数に基づく交通量推定値。2020年1月13日＝100、7日移動平均値。

(出所) Apple Maps「Mobility Trends Reports」

(<https://www.apple.com/covid19/mobility>)より野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

7月7日
7月9日
7月15日

日本家計調査 (5月)
日本機械受注 (5月)
日本金融政策発表

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。